

ピアノについて調べてみよう

みなさんはどんな楽器を知っていますか？

リコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴、ピアノなど楽器にはいろいろな種類があります。その中でも音楽の授業などでよく聴くのは、ピアノです。そのピアノの音の出るしくみや歴史について調べてみましょう。



1. まずはキーワードを見つけてみよう！

鍵盤楽器 ・ チェンバロ ・ グランドピアノ ・ ソナタ

協奏曲 ・ 室内楽 ・ ピアニスト など

2. 参考図書(事典や辞典)を使おう！

キーワードとなる言葉を調べてみよう！

『総合百科事典ポプラディア』ポプラ社(JR031 ヲ)

『学習百科大事典アカデミア 14』東京印書館(JR031 ガ 14)

3. ピアノの音がでるしくみを調べてみよう！

『21世紀子ども百科大図解』小学館(JR031 ニ)

ピアノのつくりと音の出し方を楽しくイラストと写真でわかりやすく紹介しています。

『子ども大百科大図解』小学館(JR031 コ)

『楽器の絵本ピアノ』カワイ出版(J763 ハ)

『月刊ポプラディア合本2007 上』ポプラ社(J031 ケ 07-1)

楽器がかなでる音の正体を探ることができます。

『ビジュアルで楽しむピアノの世界』学研(763.2 ビ)

写真でくわしくつくり方をみることができます。

『一冊でわかる楽器ガイド』成美堂出版(763 イ)



音を出さってどういうこと？

楽器にかぎらず、私たちが聞いている音は全て物体が振動する(ふるえる)ことによって生じます。物体のふるえはまわりの空気を伝わり、音として耳に聞こえています。

音のちがいは、①音の高さ、②音の強さ(大きさ)、③音色の3要素で構成されています。

※音色とは、音の高さや強さが同じでも、それを発する楽器によってちがって感じられる音の特性のことです。

出典：『月刊ポプラディア合本2007 上』

4. ピアノのはじまりを調べてみよう！

『21世紀子ども百科もののはじまり館』小学館(JR031 ニ)

・『ピアノの演奏』 文研出版(763ピ)

はじめて日本にやってきたピアノも紹介されています。

・『ピアノのための絵でよむ音楽史』 ヤマハミュージックメディア(762ナ)

・『いきなり&もう一度！才能以前のピアノの常識』 講談社(763.2キ)

ピアノの歴史や知識をかわいいイラスト付きで紹介しています。

5. ピアノの仲間を調べてみよう！

・『楽器からみるオーケストラの世界』 河出書房新社(764.3サ)

・『世界の「楽器」絵事典』 PHP研究所(J763セ)

・『楽器図鑑』 あすなる書房(J763ア)

世界中に存在するさまざまな楽器を紹介し、音色のひみつもわかりやすく書かれています。

・『楽器のしくみ』 日本実業出版社(763オ)

各楽器の構造、歴史、音色の特徴をわかりやすく紹介しています。

6. ピアノの名曲を調べてみよう！

ピアノは小さなオーケストラとも呼ばれる万能の楽器のため、多くの

作曲家が名曲を残しています。

・『ピアノの演奏』 文研出版(J763ピ)

ピアノ、オルガン、チェンバロ、アコーディオンなどそれぞれの楽器で異なる音を出すしくみや歴史についてCD音源を聴きながら学ぶことができます。

・『ピアノのための絵で読む音楽史』 ヤマハミュージックメディア(762ナ)

他にも、音楽家について個人伝記で調べてみよう。

・『ベートーヴェン』 リブリオ出版(J762ヒ)

・『モーツァルト』 リブリオ出版(J762ヒ)

・『ショパン』 リブリオ出版(J762ヒ)

・『ピアノはともだち』 講談社(J762コ)

生まれてから光のない世界で人と心をかよわす方法をピアノに見いだしてきた辻井伸行さんの心をゆさぶる奇跡の音色のひみつにせまります。

7. ピアノに関わる仕事を調べてみよう！

・『ビジュアルで楽しむピアノの世界』 学研(763.2ヒ)

・『知ってるようで知らないピアノおもしろ雑学事典』

ヤマハミュージックメディア(763.2ハ)
・『なりたい自分を見つける！仕事の図鑑13 人の心を動かす芸術文化の仕事』 あかね書房(J366ナ13)

ピアニストや調律師の仕事について紹介しています。

・『なりたい職業やりたい仕事ができる本』 メイツ出版(J366ナ)

・『マスコミ・芸能・創作のしごと』 PHP 研究所(J366マ)

ピアニストの仕事について紹介しています。

・『まんがで読む仕事ナビ1 歌・音楽にかかわる仕事』

ポプラ社(J366マ1)

調律師や楽器職人、楽器修理人の仕事について紹介しています。